



奉仕団ニュース

社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団

URL: <http://www.jcws.or.jp/houjin/houjintop>

第40号 2025年7月

Tel 03-3202-0486

Fax 03-3202-0487

「つづく・つながる」

理事長 わたなべ きょう 渡辺 教

早く、世界中に平和な世が来てほしい、と願っている人が何人いるのでしょうか。

テレビに映っていた、イスラエルのガザ地区の爆撃の後の人々の惨状の映像を、5年生になる孫が見て「こんなの見たくない、なんでこんなひどいのをテレビでやるのかな?」と言った。これを聞いて私は何とも答えられませんでした。今、偏った主張をする、強い政治家がポピュラリティとして人気を得るようになってしまった。人々はみな戦争のない平和な世の中を求めている人ばかりであるはずなのに、短期的には自己の利益が一番として考えてしまうのでしょうか。事実の報道も子供にはショックであり何か違うようです。

論語に中庸という言葉があります。何か中庸という、妥協の産物、どっちつかずの感じがしますが、極端ではなく、逆に中庸になることが、最も強いではないでしょうか。世の中、様々な人がいる中でみんなが自己主張のみではなく、認め合って中庸を守っていくことを大切に世の中になってほしいものです。

奉仕団ではコロナ禍もありここ数年毎年赤字決算が続いておりましたが、長いトンネルを抜けたように、2024年度は奉仕団全体で黒字を計上することが出来ました。この黒字決算は、職員一同が人手不足、物価高の中、大変苦労して成し遂げたものです。今年からはまた新たな5年の中期計画が始まります。この中期計画では、奉仕団のミッション、ビジョンを常に意識し大切に行動を行うこと、人を大切にするを職員一人一人が心がけていくことが大きな目標になっています。これによって効率化、合理化、働きやすい職場、最終的には利用者の福祉サービスの向上、という良い循環につながっていくことを目指しています。

NHK Eテレで、もう20年以上続いている番組にピタゴラスイッチという番組があります。ご覧になっている方も多いと思いますが、この番組名目は子供向けですが、アイデアが豊富で、知らなかった

ことや、今まで気が付かなかったことに気づかされることの多い番組です。中で、ピタゴラス装置は仕組みは重力を利用して物の動きを繋げていくもので、さまざまな形でアイデア一杯に動きが繋がって

いきます。スタートすると止まらず、玉を斜面で転がす、あたる、ピンを外す、ドミノ倒し、物を落とす、てこの原理でシーソーで跳ね上げるなどいろいろな動きを組み合わせで進んでいきます。ピタゴラス装置は確実につづき・つながっていかなくては動きが止まってしまう。ここで、重要なことは、つながっていることです。少しでも角度がずれたり、力の加減を間違えると途中で止まってしまう、脱線してしまいます。慎重、アイデア、綿密な計画が必要です。これからの奉仕団もピタゴラス装置と同じように、前の世代から受け継いだものを次の世代に確実につなげていくこと、またその中に新しいアイデアを組み入れ加えていくことが必要であり、現在奉仕団にかかわっている私たちの使命だと思います。

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。わたしにつながっていない人がいれば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。(マタイによる福音書 15-5-6)

日本基督教奉仕団は障がいの有無にかかわらず「共に生き、共に歩む」当たり前の暮らしが出来る地域共生社会の実現に向けて、今年も引続き神様から与えられた軌である使命を背負い進んでまいりますので、皆さまのご理解、見守りとご支援をよろしくお願いいたします。



アジア研修交流事業 活動報告

モンゴル5か年計画の4年目としてのアジア研修交流の実施

「アジア研修交流事業」では、1980年以來からアジアの諸地域より障がい者福祉事業に携わる職員を日本に招き、当奉仕団の障がい者福祉施設や外部の福祉施設を見学し障がい者支援における研鑽を深めていただくという交流を行ってきました。これまでにアジア15の国や地域から86名の研修生を受け入れました。

昨年度は「モンゴル5か年計画」の4年目として6月に、ウランバートル市の「エネレル障害者職業訓練校」の職員3名（ヨンドン オユンビレグさん、ゴトブ ガンツェツェグさん、ヤダムスレン オチルホヤグさん）を研修生としてお迎えして実施いたしました。昨年度に限っては、モンゴルに住む障がい者福祉事業に従事している方々への一般公募ではなく、第1回アジア研修交流プログラムに参加されたウヤンさんの要望に沿って、その同労者である方々をお招きしました。

研修先としては、アガベセンターとアガベ東京センターの各事業施設や他の障がい者福祉施設や関連機関の13か所を訪問し見学研修を実施しました。

研修生たちは以下のような感想を語っていました。「障がい者の意志を大切にサービスのある在り方や、職員の方々が誠実に向き合っており対応している姿に感動しました。また、就労支援、各種社会福祉サービス、定期的な法律の見直し、障がい者の生活を支援する法律など、自分の国の制度に取り入れたい良いアイデアがたくさんありました。モンゴルではこれらを実施するのに、金銭的に厳しい面がありますが、自分たちのできる範囲で少しずつ課題を解決して実行して行きたいです。」

日本での3週間の研修を終えてモンゴルに戻った研修生たちは、日本で学んだことを生かし、障がい者の就労支援や生活介護サービスなどの向上に努めながら福祉の働きに専念しておられます。



モンゴルからの研修生たち(左から3名)



開校式後の記念写真（左からの3名が研修生）

一方、同年度の10月21日～26日には、当奉仕団の職員2名をモンゴルのウランバートルに遣わし、市内にある「エネレル障害者職業訓練校」等の施設を訪問したりしながら現地の職員たちとの学びと交流を深めました。このような相互の交流の機会を通して障がい者福祉サービスに関わる両国の協力関係が前進していくことを願っています。



モニカレストランを見学された6名の研修生



新宿福祉作業所を訪問した6名の研修生

さらに、11月11日～17日にはモンゴル能力開発センターの政府関係者ら6名が来日し、4日間アガペセンターや障がい者施設を訪問して見学研修を行いました。この働きは、アジア研修交流プログラムの研修生であったウヤンガさんがモンゴルに帰り、自国の障害者福祉事業の改善や向上の一環として政府や障がい者支援団体に働きかけて実現したものです。

これらの事業は、その主旨に賛同する個人や団体の寄附金と献金によって支えられ運営されています。これまでに温かいご寄附や献金をお送りくださった方々に心から御礼を申し上げますと共に、今後とも更なる温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

.....

2024年度 献金協力者一覧 (順不同) 224件 2,596,600円

ご芳名の敬称は省略させていただきます。ご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

(北海道)	玉川聖学院	柏井 直行	株式会社さくらメンテナンス
燈台の聖母トラピスト修道院	恵泉女学園中学・高等学校宗教部	米田 憲政(2回)	株式会社小島組
(群馬県)	聖学院小学校	牧 由希子(2回)	株式会社茶利シルバー事業部
安中二葉幼稚園	青山学院中等部	鈴木 寛・節子	井出 澄子(2回)
(埼玉県)	日本聾話学校	澁澤 浩二(2回)	加藤 頼景(2回)
田沼 真巳子 (2回)	明治学院高等学校	高柳 恵介	皆川 美智子
(千葉県)	シオン幼稚園	匿名 20件	古田 和彦
京葉中部教会(日基教団)	ひこばえ幼稚園	(神奈川県)	江戸 富士子
市川三本松教会(日基教団)	原宿幼稚園	横浜海岸教会(日キ教会)	高橋 和子(2回)
千葉本町教会(日基教団)	桜美林幼稚園	篠原教会	佐々木 雄治(2回)
北柏めぐみ教会	西荻窪キリスト教会・西荻まこと幼稚園	新丸子教会(日基教団)	佐野 知子
ソフィア学園	青山学院初等部	翠ヶ丘教会(日基教団)	山下 眞佐江(2回)
稲村 茂	草苑幼稚園	生田教会(日基教団)	山田 田鶴子
宮本 和武	鶴川シオン幼稚園	捜真女学校高等学部中学部	山田 耕二・登美子(2回)
板橋 毅 (2回)	安藤 治男	田園江田教会(日基教団)	市川 健二・訓子
(東京都)	安部 安子(2回)	藤沢教会 (日基教団)	小原 俊哉
カトリック・レデンプトール修道会	井上 徹哉(2回)	林間つきみ野教会	小川 喜道(2回)
むさし小山教会教会学校(日基教団)	外館 太一	フェリス女学院中学高等学校	小池 悦郎
下北沢聖書教会	宮岡 佳子(2回)	横浜英和学院	松沢 明子
弓町本郷教会(日基教団)	金井 和夫(2回)	関東学院中学校高等学校	松本 崇
原宿教会	後藤 省二	関東学院六浦中学校・高等学校	上村 浩(2回)
三崎町教会 みさき基金	山野井 道代	湘南白百合学園小学校	新村 護(2回)
聖書友の会	鹿村 洋人	函嶺白百合学園中学高等学校宗教委員会	森 章一
西落合キリスト教会(ホリネス)	小原 江理子	ドレーパー記念幼稚園	真名子 南津子
東村山教会(日基教団)	菅谷 なほみ(2回)	伊勢原幼稚園	瀬谷 智明(2回)
八王子栄光教会(日基教団)	菅野 治江(2回)	厚木幼稚園認定こども園	正田 隆啓(2回)
番町教会(日基教団)	生井 知三	桜ヶ丘幼稚園	青柳 直人
霊南坂教会(日基教団)	谷口 武彦	相模翠ヶ丘幼稚園	石田 伊志子
暁星小学校 シャミナード会	池亀 由美子	株式会社カンテレ(2回)	石島 美智子

大久保 暁代	(山梨県)	(兵庫県)	〈使途指定寄附金〉
大西 瑞穂	富士吉田キリストの教会	関西学院 宗教活動委員会	26 件 1,898,714 円
大南 和子	峡南幼稚園	日ノ本学園高等学校	(アガペセンターのために)
長谷川 三紹(2 回)	市川幼稚園・ひかりの家学園	島田 恒(2 回)	青木 紀子
田中 誠一(2 回)	石井 幹博(2 回)	(奈良県)	佐藤 和子
田辺 スミエ(2 回)	(新潟県)	大和キリスト教会支援委員会(2 回)	椎名 明美
渡辺 教	株式会社ベーシック(2回)	(鳥取県)	清水 行雄
島村 照一(3 回)	(静岡県)	良善幼稚園	新宮 綾子(2 回)
島村 美知子(2 回)	名倉 美代子	(岡山県)	中塚 正彦(2 回)
藤井 由紀彦	(愛知県)	清心中学校・清心女子高等学校	名瀬 智子
二階堂 和博(2 回)	一宮教会	(福岡県)	水口 伸生・建子
畠山 辰美	(滋賀県)	市津 敏子(2 回)	村山 鐵郎(2 回)
飯河 保	古屋 修身	匿名 1 件	株式会社リハーツ
樋口 哲夫	(京都府)		座間市社会福祉協議会
落合 宏(2 回)	同志社中学校		匿名 7 件
和田 智章(2 回)	同志社幼稚園		(アガペ作業所のために)
廣木 安子	越川 弘英		匿名 1 件
澤田 芳巳	(大阪府)		(東京都板橋福祉工場のために)
高橋 瑞穂	堺教会(日基教団)		竹内 啓一
高橋 和秋(2 回)	岡 登貴子		匿名 1 件
匿名 16 件			(新宿区福祉作業所のために)
			プランニングルームヨコハマ
			(アジア研修交流事業のために)
			井口 礼子

☆☆☆☆☆☆☆☆

2024年度決算報告

☆☆☆☆☆☆☆☆

資金収支計算書 (単位:千円)

事業活動収入	1,979,974
事業活動支出	1,928,300
事業活動資金収支差額	51,674
施設整備等資金収支差額	△40,698
その他の活動資金収支差額	24,984
当期資金収支差額合計	35,960

事業活動計算書 (単位:千円)

サービス活動収益	1,972,059
サービス活動費用	1,962,533
サービス活動増減差額	9,524
サービス活動外増減差額	2,078
経常増減差額	11,605
特別増減差額	924
当期活動増減差額	12,529

貸借対照表 (単位:千円)

資産の部	負債の部
流動資産	流動負債
518,920	294,080
固定資産	固定負債
1,735,829	284,724
	純資産の部合計
	1,675,944
資産の部合計	負債の部合計
2,254,749	2,254,749